

上社本宮から長野市戸隠へ

# 地域の伝統文化 未来へつなごう

## 「諏訪龍神大太鼓」移動プロジェクト始動

諏訪市の諏訪大社上社本宮神楽殿の保存修理工事に伴い、設置されている「諏訪龍神大太鼓」を長野市戸隠に移すプロジェクトが始まった。同太鼓保存会が地域の伝統文化を未来へつなごうと、分社や諏訪と同じく龍神信仰があった地に、新たな活躍の場を設ける。運搬、保管費のため、3月1日からクラウドファンディング（CF）を開始し、150万円を目標に支援を募る。

（小山眞由美）

### CFで支援募る 来月1日から

国の重要文化財となり、保存 太鼓の故柳澤忠範宗家会長 修理工事が始まる神楽殿。設置 下諏訪町西赤砂出身 置する二つの太鼓のうち、同大 した。皮面直径2・1尺、胴長 太鼓は2010年4月、諏訪神 さ2・4尺、胴直径2・5尺、 重さ約1ト。



諏訪大社上社本宮神楽殿の「諏訪龍神大太鼓」。奉納して初打ちを披露する故柳澤忠範宗家会長 2010年4月25日

胸部に昇り龍と降り龍を彫り込み、牛皮を張っている。今回の工事に伴い、二つの太鼓は移動を余儀なくされ、修理後も元には戻せない。諏訪大社からの相談をきっかけに、生前に柳澤さんの指導を受けた太鼓チームのメンバーが、活動拠点

となる戸隠地方への受け入れを整えた。戸隠には、五斎神社（諏訪社）、九頭龍社などの五社からなる戸隠神社がある。同保存会は、諏訪地方を中心に30〜60代の和太鼓奏者や

歴史愛好家ら10人で構成。諏訪と戸隠をつなぎ、文化交流に生かそうと構想を練る。CFの寄付者には地酒などの返礼品を贈るといふ。

プロジェクトでは、3月30日に神楽殿で太鼓の奉納演奏を行い、出発する。目的が雪深いため、岡谷市内で一時間管し6月に戸隠へ。設置場所については調整中で、現地のプロジェクトに賛同した人たちの協力を受けて保存する計画だ。同保存会代表で、諏訪神太鼓代表を務める柳澤さんの次女真衣子さん（49） 同町西赤砂は「100年先まで響か

せたいという父の願いがあったと振り返る。「皆さんの力を借りて後世に残し、多くの人に聞いてほしい。諏訪と戸隠の地を結び付け、互いの発展にもつなげれば」と期待する。江戸時代から伝わるもう一つの太鼓の保存に関しては、諏訪大社で検討している。プロジェクトの問い合わせ、応援はQRコードから受け付ける。



プロジェクトのQRコード